

ワークショップ
『つくば地域におけるライフイノベーション創造のための、
産学官イノベーション拠点の追求』の開催

国立大学法人筑波大学
国際産学連携本部

1. 目的 健康長寿社会の実現と次世代型健康産業育成に向けて、筑波地域の研究機関等の総力を結集し、継続的なライフイノベーション創出と成果の社会実装を可能とするための連携研究拠点形成の可能性とコンセプトを追求する。
2. 日程 1月7日(水) 午前9時～12時30分(※第2部は並行して複数セッションを開催)
3. 場所 つくば国際会議場 <http://www.epochal.or.jp/access/index.html>
全体会議：中会議室406号室、分科会：小会議室401、402、404号室
4. 参加者 筑波大学、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、高エネルギー加速器研究機構、文部科学省、茨城県、つくば市、TGI、他
5. 内容 ※敬称略

<第1部> 9:00～9:25 **ライフイノベーションに関する動向 406号室**

- (1) はじめに 国立大学法人筑波大学 吉川晃
- (2) ライフイノベーション実現に向けた企業、産業のニーズ
株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント 梅原郁恵
- (3) つくばライフイノベーション創出に向けた事業化支援機能強化の必要性について
国立大学法人筑波大学 産学連携部 部長 末広峰政

<第2部> 9:30～11:15 **パラレルセッション**

～つくばにおけるライフイノベーション創造に向けた研究・技術シーズの探索及び連携の可能性に関する討議～ ※別紙参照

- 第1セッション：つくばの技術基盤を結集した新しい医療の世界 401号室
第2セッション：日常生活の中で健康を創る・守る 402号室
第3セッション：技術融合による新しい人間支援のシステム 404号室

<第3部> 11:15～12:30 **つくばでのイノベーション創出スキーム 406号室**

銀行、ベンチャーキャピタル、シンクタンク、企業、大学関係者等の参加を得て、パネルディスカッションを行い、つくばの地で継続的なイノベーション創出を可能とし、社会実装につなげていくために取り組むべき課題を明らかにする。 ※以下、敬称略、順不同

【パネリスト予定者】

- ・海外のシステム事例等 久保田大志 (IMEC オフィスジャパン セールスマネージャ)
 - ・筑波地域の民間企業 阿部剛士 (インテル株式会社 取締役・副社長)
 - ・大学発ベンチャー 山海嘉之 (筑波大学 サイバニクス研究センター センター長)
 - ・金融/銀行関係者 関 敏幸 (株式会社常陽銀行 地域協創部 次長)
 - ・ベンチャーキャピタル 大滝義博
(株式会社バイオフィロントニアパートナーズ 代表取締役)
 - ・民間コンサルタント 小久保欣哉 (株式会社野村総合研究所 上級コンサルタント)
- その他聴衆として、民間企業マネジメント、自治体、大学関係者等の参加を調整中

別紙

第2部各セッションの内容と発表順は次のとおりとする。

また、プレゼンテーションは5分以内/人で、①研究概要、その強み、②今後の研究の発展における他の研究者・機関等との連携の可能性、③社会実装、事業化のイメージ（連携先がある場合は企業名等も含む）についてご発表いただき、研究シーズの探索や連携の可能性についてディスカッションする。

（1）つくばの技術基盤を結集した新しい医療の世界

【先端創薬】

①先端糖鎖解析による疾病診断・抗体医薬品の開発

産業技術総合研究所 幹細胞工学研究センター 首席研究員 平林淳

②新規抗インフルエンザ薬及び高感度のインフルエンザ検査薬開発

筑波大学 医学医療系 助教 川口敦史

③オレキシンを基軸とする創薬研究の発展

筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 教授・事務部門長 小久保利雄

【スマート BNCT】

④BNCT（ホウ素中性子捕捉療法）の実用化に向けた開発研究

筑波大学 陽子線医学利用研究センター 准教授 熊田博明

⑤ナノドラッグデリバリーシステム

筑波大学 数理物質系 教授 長崎幸夫

産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 主任研究員 石川善恵

【医療へのナノテクの応用】

⑥呼吸分析による健康・疾病診断技術

物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス研究拠点 MANA 独立研究者 吉川元起

⑦ナノ粒子・ナノ材料安全性評価技術

産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 部門長 近江谷克裕

【新規イメージング、治療技術】

⑧転移癌に対する新規光線力学療法用 ICG（インドシアニンググリーン）ラクトソーム製剤の開発

筑波大学 医学医療系 次世代医療研究開発・教育統合センター長 坂根正孝

⑨低分子抗体がもたらす画像診断、治療へのインパクト ※ご都合により発表順の変更予定

イマジナブジャパン株式会社 代表取締役 西村伸太郎

⑩コンパクト ERL（エネルギー回収型ライナック）と医学応用

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 ERL 計画推進室長 河田洋

(2) 日常生活の中で健康を創る・守る

【食による健康の維持・増進】

①スマートフードナノテクノロジー

筑波大学 生命環境系 教授 中嶋光敏、同系 教授 市川創作、
農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 主任研究員 小林功

②つくば、茨城県産機能性食品・ヘルスケア製品の開発

筑波大学 北アフリカ研究センター センター長 礪田博子

③マイクロ化学分析デバイス

筑波大学 数理物質系 教授 鈴木博章

④機能性成分等の臨床評価系 (仮)

筑波大学 体育系 征矢英昭

【健康監視デバイス】

⑤バイオデバイス

産業技術総合研究所 四国センター 健康工学研究部門 副研究部門長 大家利彦

⑥バイオセンサの新規要素技術・製造技術の開発

産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 グループリーダー 横山憲二

【環境調和】

⑦環境浄化ナノ粒子

産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 グループリーダー 川本徹

⑧バイオミメティック界面

産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 グループリーダー 増田光俊

【ビッグデータの応用】

⑨ビッグデータ解析による介護ニーズ把握

筑波大学 人間系 社会人大学院生 泉田信行

(3) サイバニクスとナノ・バイオの融合による新しい人間支援のシステム

【ロボット・エレクトロニクス技術による人間支援】

①ロボット技術による活動支援、介護支援 (仮)

筑波大学 サイバニクス研究センター センター長 山海嘉之

②ユビキタスインタラクション

産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門グループリーダー 佐藤洋

③センサネットワーク

産業技術総合研究所 集積マイクロシステム研究センター センター長 前田竜太郎

【ナノ・バイオ技術による人間支援】

④身体適応支援

産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門主任研究員 関喜一

⑤聴覚支援

産業技術総合研究所 ヒューマンライフテクノロジー研究部門 企画主幹 倉片憲治

⑥人工骨、3Dプリンタ

産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 主任研究員 寺岡啓

⑦暗視カラーカメラの活用

産業技術総合研究所 計測フロンティア研究部門 副研究部門長 時崎高志

⑧貼る癌治療用ファイバー

物質・材料研究機構 生体機能材料ユニット 主任研究員/MANA 研究者 荻原充宏

⑨吸入治療用デバイス・製剤

物質・材料研究機構 生体機能材料ユニット 主幹研究員/MANA 研究者 川上亘作

【臨床研究】

⑩臨床研究加速システム

筑波大学 医学医療系 准教授・臨床研究推進・支援センター部長 鶴嶋英夫

以上